**令和６年度　職層別研修　能力向上部門「政策提案」事前調査用紙**

**研究テーマ　「定住化促進」**

団体 　 　　　　　所属　 　　　　　課 　　　　　係　　氏名

**◎研究テーマ設定の背景**

わが国の総人口は、2008年をピークに減少に転じ、2040年には1億1,284万人となり、2070年には総人口が9,000万人を割り込むと見込まれています。

こうした人口減少の中、都市部への人口集中が進み、若年層を中心として各自治体から人口が流出していること等により、地方における人口、特に生産年齢人口が減少しています。これは、地域社会の担い手が減少しているだけでなく、消費市場・地方経済が縮小する等、様々な社会的・経済的な課題を生んでいます。また、都市機能の維持には一定の人口規模と密度が必要なことから、人口減少により都市機能を維持することが困難となり、地域の魅力・活力を低下させ、更なる人口流出を招くおそれもあります。

このような状況は、人口集中の受け皿とされる首都圏に位置する東京の市町村にとっても例外ではありません。西多摩・島しょ地域においては既に人口減少に転じており、多摩地域全体でも近い将来人口減少局面に入ることが見込まれています。

有識者からなる人口戦略会議が、東京の市町村を含む自治体を「消滅可能性自治体」や「ブラックホール型自治体」と指摘し、話題となったことも記憶に新しいところです。

各自治体においては、今後の人口流出を防ぐためにも、地域の特色を踏まえた自主的・主体的な定住化促進への取組が急務となっています。

政府では「地方創生」を掲げ、平成25年度に「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、**令和元年度に策定された第２期**まち・ひと・しごと創生**総合戦略では、基本目標として**

**①稼ぐ地域をつくるとともに、地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする**

**②地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる**

**③結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

**④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる**

**こととしています。**

**加えて２つの横断的な目標として**

**◎多様な人材の活躍を推進する（多様な人々の活躍による地方創生の推進等）**

**◎新しい時代の流れを力にする（地域におけるSociety5.0の推進等）**

**を掲げました。**

　東京都においては、将来にわたって持続可能な多摩・島しょ地域を築いていく観点から、

同地域への移住・定住促進策を推進することとし、移住・定住相談窓口の設置や、移住・定住支援サイトの開設などの取組を開始しました。

また、東京の各市町村においても、各地域の魅力を活かした移住・定住促進策に着手しつつあります。

**定住化促進に関連して、「関係人口」という概念があり、注目されています。**

**日本全体の人口減少が進むなか、**人口争奪をめぐる自治体間競争がゼロサムゲームとなってしまうことを踏まえると、個々の地方自治体が短期的な人口増加を目的とした事業の実施に奔走するのではなく、中長期的な人口減少の動向を見極め、持続可能な自治体の在り方を模索することが求められています。地域課題解決における地域の担い手不足は深刻となっており、定住人口でもなく、観光人口でもない、新しい概念として「関係人口」が注目されています。

**ここでは、関係人口を「日常生活圏や通勤以外の特定の地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域の課題の解決に資する人（国土交通省）」とします。地域を活性化し魅力的な地域を創るキーパーソンとして注目されています。**

**※研究テーマ設定の背景と事前配布資料を、十分に読んで分析・把握に努めて、下記の設問**

**に答えてください。（箇条書きでも可）**

1. あなたが所属する団体には、定住化促進を視野に入れた計画等があれば、その計画名及び

内容を記入してください。

1. 所属団体が、定住化促進として、取り組んでいる事例を挙げてください。(あなたの所属

団体で、将来に向けて、現在取り組んでいる事例を記載いただいても結構です)。

1. あなた自身は、どのようなまちなら定住し続けたいと思いますか。

※このスペースで書ききれない場合は、別紙に記載してください。

※この用紙は研修所ホームページ（https://www.tskweb.jp/）からもダウンロードできます。

「トップページ＞研修紹介＞研修書式ダウンロード」をご覧ください。

　※その他参考資料

　「関係人口とともに創る地域づくりに関する調査研究書」（東京市町村自治調査会）